

取組と目標に対する自己評価シート

タイトル:介護予防と生きがいがづくりで生涯現役のまちづくり

目標を設定するに至った現状と課題

本町の総人口に占める高齢者割合・高齢化率は年々増加傾向にあり、高齢者人口の推移は前期高齢者数は増加傾向、後期高齢者数は減少傾向となっていますが、総人口に占める割合は、徐々に縮まっています。また、一般世帯に占める高齢独居世帯・高齢夫婦世帯の割合は増加してきています。

本町はこれまで「セラバンド体操」を中心に、在宅高齢者の介護予防・重度化予防に向けた、介護予防活動を重点的に取り組んできており、要支援・要介護の認定者数と認定率は減少しております。ニーズ調査では、セラバンド体操の認知度は半数以上の人が「知っている」と回答しているが、前期高齢者の認知度が低いことや女性よりも男性の実施率が低い傾向にあることが課題です。

高齢夫婦世帯や高齢者独居世帯が増加していることから、今後、身体機能の低下等による閉じこもりリスクが増加することが考えられます。そのため、介護予防活動の重要性の啓発、地域で介護予防活動に取り組める集いの場への積極的な参加の推進を行う必要があります。

第8期における具体的な取組【P】

★町ぐるみで介護予防

- ①介護予防手帳を使った「運動・口腔・栄養」の介護予防のポイントの啓発強化
- ②自主的な介護予防活動の継続に向け、専門職の支援体制を整備し、地域サロン等集いの場への訪問、指導、普及啓発の実施
- ③「津野町セラバンド体操」の普及

目標(事業内容、指標等)【D】

- 地域サロン等集いの場へ訪問型の普及啓発
 - ・【津野町版】介護予防手帳を使った健康教育の実施
 - 「介護予防の7つのポイント」から引用した健康健康教育テーマを設定。携わる複数の職員が同じ内容で健康教育を実施。
 - ・歯科衛生士による口腔機能維持及び口腔ケア方法等の健康教育実施
- 津野町セラバンド体操動画再編と町ホームページの動画配信
- パワーリハビリ事業実施と事業終了後運動習慣継続に向けた支援

目標の評価方法

●時点

中間見直しあり

実績評価のみ

●評価方法

- ・地域サロンや事業所等への訪問件数
- ・圏域ニーズ調査での「津野町セラバンド体操」認知度と実施率
- ・圏域ニーズ調査での会・グループ等への参加頻度の推移

前期(実績評価)【C】

実施内容

①介護予防普及啓発事業

地域サロン等への健康教育実施数:16か所 歯科衛生士の健康教育実施数:8か所
基本チェックリスト実施者による月1回以上の津野町セラバンド体操実施率:31.6%

②口腔機能向上事業

実施箇所:1 参加者数:9人 就寝前の歯磨きを一番丁寧にする人の割合:22%

③運動器機能向上事業

パワーリハビリ教室:水曜教室延参加者108人 介護予防活動につながる割合:80%
OB教室延参加者230人

④介護予防把握事業

基本チェックリスト実施者:651人 介護予防事業対象者:218人

⑤人材育成研修事業

介護予防リーダー養成講座受講者:6人

⑥地域リハビリテーション活動支援事業

通所介護事業所訪問:49回 介護支援専門員支援:30回 あったかふれあいセンター訪問:34回

地域サロン訪問:25回 高齢者への運動指導や助言:73回

⑦地域サロン支援

活動助成金申請数:30件

自己評価結果【O】 O、△、×

自己評価から考察した課題と対応策【A】

【課題】

住民が取り組む介護予防活動の維持、促進

【対応策】

介護予防活動に利用しやすい資源や素材の開発や紹介